

Japan Robot Week 2022

ロボットおよびサービスロボットの導入に向けた専門展示会

出展のご案内

2022年10月19日(水) - 21日(金) 10:00-17:00

東京ビッグサイト 西ホール

開催にあたって

2012年に初開催した本展示会はロボットおよびサービスロボット導入に向けた専門展として、第6回目を迎えます。前回開催から産業用ロボットの 카테고리も加え、サービスロボットだけではなく協働ロボットやシステムインテグレータを中核とした、より活発な商談・技術交流ができる展示会に成長して参りました。

また、昨今では新型コロナウイルスの感染拡大により「ウィズコロナ・ポストコロナ」を見据え、より一層ロボットによる自動化・高効率化の必要性が増しています。本展示会では、新たな社会の変化に対応するロボットの出展も募集しております。

メーカー、ロボットSler、ユーザーの垣根を超えた新たなサービスや技術創出の場として、より社会実装を目指した展示会を開催します。

ぜひ、皆様のご出展をお待ちしております。

日本ロボット工業会／日刊工業新聞社

開催概要

名称：Japan Robot Week 2022

会期：2022年10月19日(水)～21日(金) 10:00～17:00

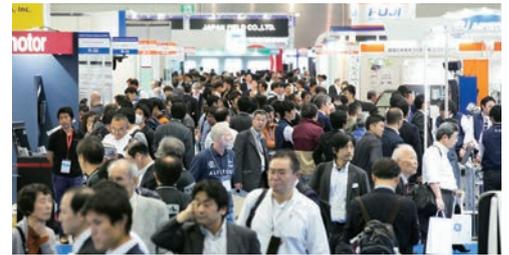
会場：東京ビッグサイト 西ホール

主催：日本ロボット工業会／日刊工業新聞社

後援：経済産業省／新エネルギー・産業技術総合開発機構／
日本機械工業連合会／ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会
／日本ロボット学会／人工知能学会（申請予定・順不同・法人格略）

入場料：1,000円（入場登録者、招待状持参者、中学生以下は無料）

同時開催：洗浄総合展／VACUUM真空展／SAMPE Japan 先端材料技術展／スマートファクトリーJapan／
高精度・難加工技術展／表面改質展



出展対象

生活・暮らし

より安全・安心な社会生活を実現

警備／受付・案内／接客／調理支援／清掃／
コミュニケーション／エンターテインメント／物流・流通／
自動運転／パーソナルモビリティ／ドローン／教育／教材／
出版 など

インフラ・災害対応・建設

人が立ち入れない現場で活躍し、事故、
二次災害から人を守る

検査／補修／探索／
各種作業用（原子力・電力・ガス・宇宙・海洋 など）／
土木・建設／研究開発／ドローン など

農林水産業・スマート農業・食品産業

安全かつ高効率な農林水産・食品産業の未来を支える

作業支援（パワーアシスト）／自動収穫／品質管理／除草／
食品（包装・梱包）／ピッキング など

介護・福祉・医療

少子高齢化社会を支える介護・福祉機器と
最先端医療技術

移動支援／移乗介助／入浴支援／排泄支援／リハビリ支援／
見守り／手術支援／手術シミュレーション／
コミュニケーション／アシストスーツ など

ロボット導入・システムインテグレーション

各種製造現場の省人化、高効率化を支援

協調・協働ロボット／卓上ロボット／
システムインテグレーション／組立用／ピッキング用／
整列・包装用／入出荷用／マテリアルハンドリング・搬送用
など

要素技術・関連機器

ロボットを構成する知能・駆動・制御・
センサや関連機器

AI／機械学習／ディープラーニング／コントローラ／
セキュリティ／ソフトウェア／モータ／ジョイント／
油空圧機器／アクチュエータ／アーム／ハンド／搬送機器／
エンドエフェクタ／変減速機／計測機器／センサ／認識技術／
歯車／ねじ／ケーブル など

ニューノーマル

「ウィズコロナ・ポストコロナ」を見据える

AGV／デリバリー／検査・測定／除菌／テレプレゼンス など

小間タイプ・料金

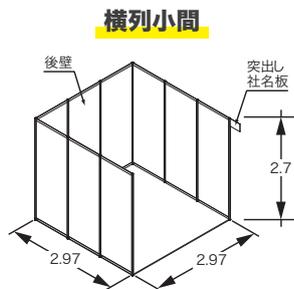
■ 出展料金 (1小間)

| | | |
|-----------|--------------------------------|----------------|
| 日本ロボット工業会 | 正会員 | 330,000 円 (税込) |
| | 準会員 (Sler協会会員)・賛助会員 / 自治体・公共機関 | 341,000 円 (税込) |
| 一般企業 | | 352,000 円 (税込) |

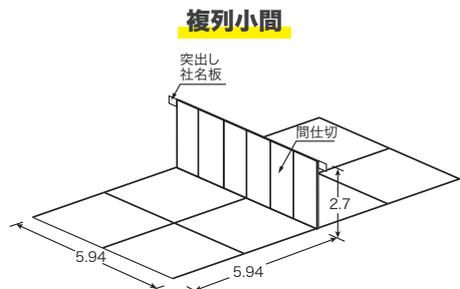
※会場規模により小間数制限を行う場合がございます。ご了承ください。

※「準会員」は「FA・ロボットシステムインテグレータ協会」会員を対象とします。

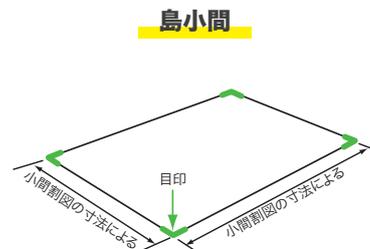
■ 小間タイプ：1小間 約9㎡ (W2.97m×D2.97m×H2.7m)



1小間の場合



3方通路で奥行きが2小間以上 / 原則4小間以上



原則8小間以上



※上記の表示は、芯々の寸法 (m) です。 ※いずれの小間にも電源・照明・カーペット等はありません。

※角小間の場合は、出展者のご要望がない限り通路側の壁は設けません。

参考

パッケージディスプレイのご案内
展示と装飾を簡略化し、出展経費節減をサポートします。

個別にお申し込みいただくよりもお安い値段設定となっております。その他のプランや詳細・お申し込み方法は、出展者説明会 (2022年8月初旬予定) にてご案内いたします。

※2小間以上についてもご用意可能です。 ※電気を1kW以上使用の場合は、別途電気幹線工事費と電気使用料がかかります。

1小間仕様

出展料+82,500円 (税込)

出展者セミナー

会場内で「製品・技術説明会」開催の場を提供します。ご希望の出展者は出展申込書に希望枠をご記載ください。

会場：「Japan Robot Week 2022」内 特設会場 (オープンスペース)

料金：1セッション (40分 質疑応答を含む) 110,000円 (税込)

仕様：演台・PC・プロジェクター・スクリーン・マイク

定員：100名

募集時間枠：全18枠 (右表参照)

<タイムスケジュール>

| 日時 | 10/19(水) | 10/20(木) | 10/21(金) |
|-------------|----------|----------|----------|
| 10:30~11:10 | A | G | M |
| 11:30~12:10 | B | H | N |
| 12:30~13:10 | C | I | O |
| 13:30~14:10 | D | J | P |
| 14:30~15:10 | E | K | Q |
| 15:30~16:10 | F | L | R |



※資料等は発表会社で準備してください。 ※聴講料は無料とさせていただきます。

※セミナーの発表者は本展の出展者に限ります。申込締切後、事務局にて発表枠を決定いたします。

申込要項

お申込み方法

出展申込書 (別添) に必要事項をご記入のうえ、事務局宛に **メール添付または郵送** でお申込みください。なお、出展内容が本展趣旨にそぐわない場合、受付をお断りすることがありますので予めご了承ください。

申込締切：2022年6月28日(火)

送付先：日刊工業新聞社 総合事業局 イベント事業部「Japan Robot Week」事務局
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1
TEL：03-5644-7220 E-mail：autumnfair@nikkan.tech

出展料のお支払い

申込書の内容を確認後、ご請求書をお送りしますので必ず銀行振込にてお支払いください。

支払期限：2022年7月28日(木)

出展契約の変更 / 取消

既に申し込まれた小間に対する変更または取り消しは、文書にその理由を明記し、事務局の承認を得てください。なお、出展を取り消された場合、下記の通りキャンセル料を申し受けます。

- 申込書受理日から出展者説明会前日まで：出展料の50%
- 出展者説明会当日以降：出展料の100%

■ ハイブリッド開催 (オンライン出展) について

本展はハイブリッド (リアル+オンライン) 開催いたします。なお、オンライン出展については、リアル会場のオプションメニューとして出展者説明会でご案内予定です。また、オンライン出展のみのお申込みも可能です。

※オンライン出展の料金体系・申込方法等は、決定次第、公式Webサイト等でご案内いたします。

来場動員プロモーション（予定）

新聞報道などと連動した継続的な来場動員プロモーションにより
業界ユーザー層の来場につなげます！

日刊工業新聞

紙面プレビューを通して出展者を紹介します

「日刊工業新聞」で全国全産業のユーザーに対して告知・動員を図ります。社告や広告はもとより、開催前の出展企業の紹介、会期に合わせた特集記事などを通じて、エンドユーザーの確実な来場につなげます。また会期中は会場の模様を記者が取材・報道し、最新の情報を読者へ提供します。

Webサイト/デジタルメディア

電子版・ニュースイッチを活用した広報活動

日刊工業新聞電子版サイトで事前来場動員PRをはじめ、出展者の出展物紹介を行います。また日刊工業新聞のデジタルメディア「ニュースイッチ」から、ロボット関連の旬なテーマを発信します。



招待状・DM/E-mail

日刊工業新聞社データベースを活用した開催案内の実施

独自のDMリストを用いて、国内外の関係企業や後援・協賛団体などに招待状を送付いたします。日刊工業新聞社の展示会・セミナー・フォーラム受講者などを基に構築したデータベースを使用し、E-mail で開催案内を行います。



国際ロボット展来場者への動員活動

14万人以上のユーザーが訪れる世界最大級のロボットトレードショー



国際ロボット展は、日本ロボット工業会、日刊工業新聞社が共催する、24回の開催を誇る世界最大級のトレードショーです。国内外の産業用ロボットトップメーカーから最先端のサービスロボット、関連機器企業が多数出展し、2019年は4日間で14万人を超えるユーザー、関係者に来場いただきました。

また、国内外のテレビ、新聞、雑誌、Webなど各方面のメディアで取り上げられました。これらの来場動員・広報実績を基に、本展でもロボットおよびサービスロボットユーザー、関係者を広く動員します。



同時開催

東京ビッグサイト西ホールで、7つの専門展を同時開催！

Japan Robot Week

洗浄総合展

VACUUM真空展

sampe Japan 先端材料技術展

スマートファクトリー-Japan

高精度・難加工技術展

表面改質展

全展において
相互入場を
実施いたします

併催事業（予定）

「第10回ロボット大賞」受賞者合同展示

共催：経済産業省（幹事）/日本機械工業連合会（幹事）/総務省/文部科学省/厚生労働省/
農林水産省/国土交通省

国内で活躍した優れたロボットや部品、ロボットシステム等を称える「ロボット大賞」の受賞者による合同展示を行います。



この事業は競輪の補助により実施しています。

開催までのスケジュール (予定)

2022年6月28日(火)

出展申込締切

8月初旬(予定)

出展者説明会

8月下旬

諸届け提出期限

10月17日(月)-18日(火)

搬入・装飾施工

10月19日(水)-21日(金)

会期
(終了後即日搬出・撤去)

開催実績 (2018年/東京ビッグサイト 東5ホール)

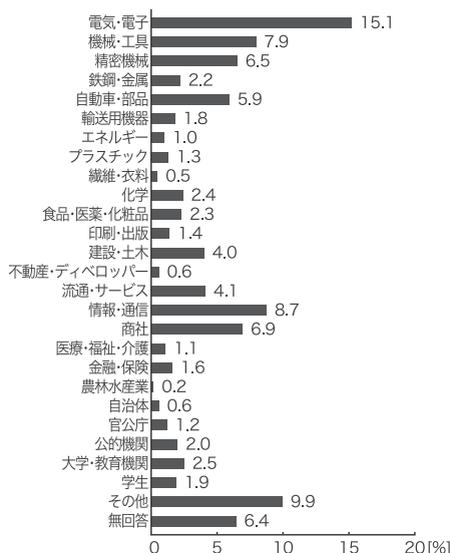
出展規模 **179** 社・団体 / **286** 小間

来場者数 **32,681** 名 [3日間]

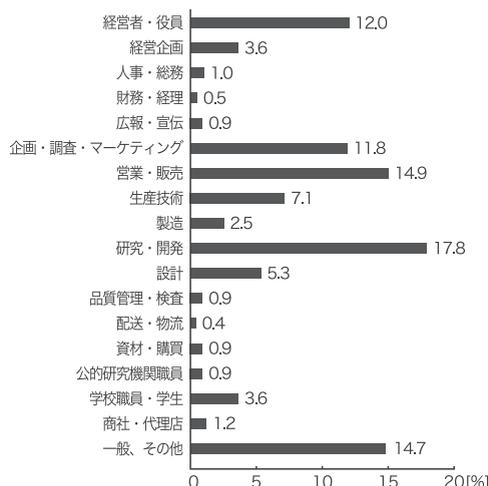


[リアル会場] 来場者アンケート集計結果 (2018年)

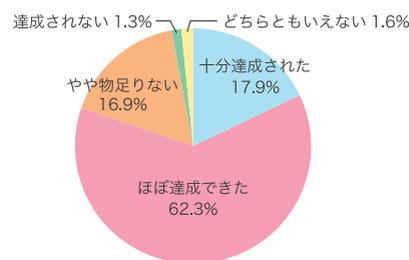
あなたの業種は？



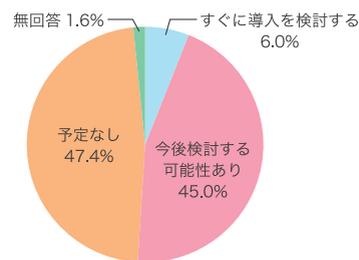
あなたの職種は？



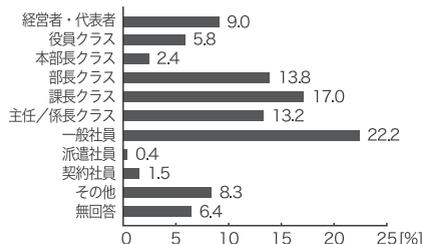
ご来場の目的は達せられましたか？



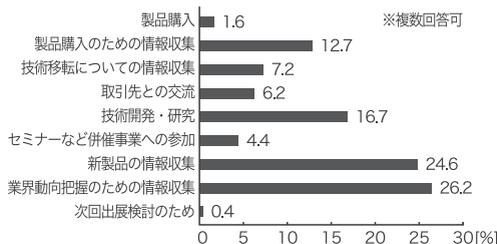
導入したい出展製品や技術はありましたか？



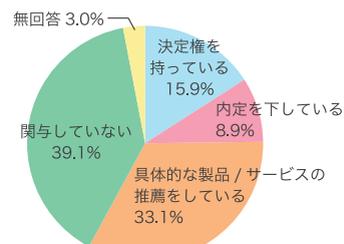
あなたの役職は？



あなたの来場目的は？



製品及びサービスの購入・導入における関与度は？



出展のお申込み・お問い合わせ

日刊工業新聞社 総合事業局 イベント事業部 「Japan Robot Week」事務局

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1

TEL : 03-5644-7220 E-mail : autumnfair@nikkan.tech

最新情報は
公式Webを
CHECK!! ▶



あ ITAGE
AIDOR共同体・大阪市
アルゴ
飯塚研究開発機構
※九州工業大学
※レイドリクス
InSpace
International Federation of Robotics (IFR)
ウシオ
エクセル
SMFLレンタル
SPIエンジニアリング
エニドア
エヌ・ティー・エス
大塚商会
※ソリッドワークス・ジャパン
オーム社
か 科学技術振興機構/
ImPACT タフ・ロボティクス・チャレンジ
各務原市
※今仙技術研究所
※エフ・アイ・ティ
※ブイ・アール・テクノセンター
キビテク
グリーンネブランニング
グローリー
Korea Association of Robot Industry(KAR)
近藤科学
工場網信息科技有限公司(上海)
さ 埼玉県
※アーク
※NECネッツエスアイ
※ソフトロニクス
※ボーダック
※ワールド技研
サイベックコーポレーション
さがみはらロボットビジネス協議会
※愛知産業
※F-Design
※大沢工業
※ステラ技研
※TRANSCEND
※メディアプラス
※MEMOテクノス
※ユタカ精工
佐渡精密
三機
三松
山洋電気
三和電子機器
芝浦工業大学
Shanghai Jiuxie Machinery
Shanghai Slamtec
昭洋精機
新興技術研究所
西部電機
ゼラロボティクス
た Taiwan Automation Intelligence and Robotics Association (TAIROA)
中国国際ロボット展示会/
中国国際知能工業装備とソリューション展示会 (CIROS&ifes2018)
THK
デクシス
テュフ ラインランド ジャパン
東京都立産業技術研究センター
東京理科大学
※イノフィス
な 長崎県
ナノコート・ティーエス
日本真空工業会
日本バイナリー
日本ロボット工業会/
FA・ロボットシステムインテグレート協会
ニワカソフト
は バイバイワールド
パナソニック
浜口ウレタン
浜名湖国際頭脳センター
※CAIメディア
パンゴリン・ロボット・ジャパン
ピアブ・ジャパン
Piezo Sonic
樋口工作所

ひょうご・神戸投資サポートセンター/神戸市
福島県/福島イノベーション・コースト構想推進機構
※イームズロボティクス
※eロボティクス福島
※キャスト(白河素形材ヴァレー)
※サクラテック
※G C I u e
※鈴木電機吾一商会
※Haloworld
双葉電子工業
プリチストン
プロトラブズ
北陽電機
Bot3
ま マクソンジャパン
三重ロボット外装技術研究所
モスウェル
や 山形大学ソフトマターロボティクスコンソーシアム
Youcan Robotics Japan
ユカイ工学
ユニバーサルロボット
ら 立命館大学 理工学部 小西研究室
リバスト
Leishen Intelligent System
ロゼッタ
ロボットサービスイニシアチブ
わ 早稲田大学 可部研究室

■かながわロボットイノベーション
あ ICT分科会(湘南事業家フォーラム)
※アイ・メデックス
※アリックス
※コヤワタオフィス
※湘南MODセンター
※プレーン・デザイン・ワークス
※マシンラーニングアソシエーション
アサイ・エンジニアリング
アセス
ATSUMO(あつぎものづくりブランドプロジェクト)
イクシス
A・R・Pエクストコム
小川優機製作所
か 神奈川県
※神奈川県立産業技術総合研究所
※かながわ産学公連携推進協議会
※神奈川産業振興センター
※かわさき神奈川ロボットビジネス協議会
※川崎市産業振興財団
※さがみはら産業創造センター/
さがみはら表面技術研究所
※相模原市産業振興財団
※湘南産業振興財団
※横須賀市産業振興財団
※横浜企業経営支援財団
神奈川県企業誘致促進協議会
神奈川県立産業技術総合研究所
神奈川大学 江上研究室
川崎信用金庫
かわさきロボット競技大会
川本重工
※JPN
※東京工業大学 鈴森研究室
※東北大学 田所研究室
グリーンテクノ
工苑コーワテック
コロンバス精機
さ 相模化学金属
相模通信工業
た 杉浦機械設計事務所
大和ハウス工業
ダブル技研
テクノス
テレビジネス
は 藤沢商工会議所
※ソーワエンジニアリング
VECTOR
※SOCIAL ROBOTICSMEMO
や 八十島プロシード
横浜電子
ら レボックス
ロボットゆうえんち